

昨年春 私はイギリスの古い大学町であるオックスフォードに行きました。そこでは「英語やイギリス文化」について学び、歴史ある地を訪れました。この「海外プログラム」は外国、特にオックスフォード大学で学びたいシニアの人達の為に早稲田大学とハートフォードカレッジの協力によつて計画実施されました。オックスフォード大学とは連盟の事で39のカレッジから成っています。私の学んだハートフォードカレッジもその一つです。オックスフォードとは「牡牛が浅瀬を渡つた所」という意味で、ロンドンから列車でもバスでも1時間くらいで行けるところにあります。テムズ川が町中を流れ、中世に石で造られた多くのカレッジ、大聖堂、教

## オックスフォード大学留学



会、博物館、図書館等がある古い町で、近年の自動車工場もある新しい町でもあります。

レッジの現役大学生達が生  
活全般の世話をしてくれて  
大変助かりました。

アリー教会、ランドマークのラドクリフカメラとボーリアン図書館、その近くに、ハートフォードカレッジ

業が始まつて2日目カレッジの大ホールで参加者を迎え入れる「ウエルカム

留学中はイギリスの様なところに出かけました。

で、まさにイングリッシュウェザーでした。毎年3月最終の日曜日には日照時間をとる為にサマータイムが始まり1時間繰り上げ、うつかりすると時間を間違えてしまします。私達の生活の基盤の寮はオックスフォード大学の大学院生の寮でした。春休み帰省して空いた部屋で、私の3階の部屋から町の教会や尖塔、テムズ川とアイシス川、羊や牛の牧草地も見える絶好の場所で早朝は良く川沿いの道の散歩や町のスケッチをしました。寮はシャワー、トイレ付きの個室で、室温は常に二十度で勉強するには非常に快適でした。朝夕の食事はこの寮で、昼食は授業の関係でカレッジの大ホールで他の教授や学生に混じってとりました。日常のことはハートフォードカ

人一組で先生や皆の前で、  
「プレゼンテーション」  
(英語の課題発表会) をす  
ることになつており第2調  
査は毎日準備に大変でし  
た。

英語のレッスンが終わる  
と学寮から20分程オックス  
フォードの町を歩いてカ  
レッジへ通います。途中は  
石畳の道で薄黄色の石で造  
られた中世の街が広がり日  
本の鎌倉時代のころのもの  
です。町の中心がハイスト  
リートで、昔からのイギリ  
スの羊毛製品の店(この町  
の近くのコツツオルズが羊  
の産地で当時イギリスは  
羊毛産業で膨大な富を築  
いた)、インド産の紅茶の  
店、昔からの本屋、ホテル  
等が並びます。

町の四辻にある1032  
年にできたカーファクスタ  
ワー、町の守護神セントメ

その研究室で午前11時頃からレクチャリー、「イギリス文化についての講義」（90～100分）があり、イギリスの歴史、建築、文学、絵画、植物、食物等の講義を受けました。午後は講義の内容に合わせてイギリス文化の体験「スクスカーション」（小旅行が行われ、様々な施設を見学しました。

This photograph captures the architectural beauty of Oxford, England. In the foreground, a large, ornate building with intricate stonework and multiple gables stands prominently. To its right, a street lined with people leads towards a historic church with a tall, spire-topped tower. The middle ground is filled with a dense cluster of buildings, their red-tiled roofs and various architectural styles creating a rich tapestry. In the background, more buildings and trees are visible under a clear blue sky.

カーファクタワーから見たオックスフォードの街  
後方中央の尖塔がハートフォードカレッジ